

活動団体:

特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS
～みんなとつくる、アフリカの子どもの未来～

団体の活動



貧困家庭の子どもたちが、前向きに生きられる社会をつくるために、現地パートナー団体と活動をしています。脆弱な家庭の保護者が養鶏や農業などのスモールビジネスを立ち上げ、安定した収入を得るための初期投資・伴走支援を行う「生計向上支援」と、子どもと保護者が自己効力感やライフスキルを身につけ、将来を計画する力を育む「ライフプランニング支援」の活動をしています。他にも「早すぎる妊娠を防ぐ支援」も開始しました。

<https://www.plas-aids.org/>



農業研修を受けるお母さんたち(ウガンダ)



早すぎる妊娠を防ぐ事業
の子どもたち(ケニア)

インターンプロフィール

石田 彩華



学生時代のインドでのボランティアをきっかけに、国際協力に興味を持つ。その後、国内外の団体でインターンシップを経験。一般企業を経て、PLAS に 2023 年 3 月より入職。

所属団体に活動するきっかけ

ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、学生時代の原動力だった「世界から不平等をなくしたい」という思いを持つようになりました。その中で PLAS のともに「つくる支援」というポリシーに共感し、参画しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

広報・コミュニケーション担当として、広報やイベント、ファンドレイジングの業務を担当しています。具体的には SNS 管理、月 2 回のメールニュース配信、現地レポートの発信、年次報告書の作成、イベント企画・運営、クラウドファンディングなどの幅広い業務を担っています。

1 年目を終えて感じたこと

日本の小・中規模の NPO/NGO 団体にも、もっと光が当たる社会になったらいいなと思います。私も PLAS がもっと多くの人に知られ、応援したいと思ってもらえるように尽力します。

スキルアップのためにしていること

1 つは広報・イベント担当として、他団体さんの SNS やイベント情報を積極的に確認しています。もう 1 つはファンドレイジング担当として、ファンドレイザーの勉強に努めています。

海外研修について ~どこで何を行う予定？

ウガンダかケニアに渡航予定です。受益者のお母さんたちや現地パートナー団体のスタッフに活動の様子をヒアリングします。

今後のビジョンは？

どんな環境に生まれたとしても、将来に希望が持てる社会をつくりたいです。そのために、多くの人を巻き込むコミュニケーション能力やファンドレイジングスキルを高めていきたいです。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

当会の活動を通して、国際協力には様々な関わり方があることを知りました。例えば、時間を使うインターやボランティア、想いを託す寄付など。まずは一步を踏み出すことで、そこから自ずと道が続いていくはずです。

団体のアピール

PLAS は 2005 年に設立され、2024 年で19 年目を迎えます。これまで 3115 名の子どもたちと、685 家庭を支援してきました。また昨年、ケニアの早すぎる妊娠を防ぐ事業にも取り組み始めました。